

コロナ禍による全国公開延期から 2 年…

映画『高津川』

全国公開決定のお知らせ

「公開できる日を夢見ていました。」

この度、映画『高津川』は 2022 年 2 月 11 日（金）より新宿バルト 9 ほか全国順次公開することが決定致しました。本作は 2020 年 4 月 3 日（金）に全国公開を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況ならびに新型コロナウイルス感染症対策本部において示された方針等に鑑み、公開を延期しておりました。以下、主演を務めた甲本雅裕、監督・脚本の錦織良成からコメントが到着しました。

甲本雅裕／COMMENT

やっとです！

コロナで延期になってましたが、やっと公開できる事に喜びの気持ちでいっぱいです！

僕のみならず携わった全ての人の願いだったと思います。

この映画は古びない、と言うか古くも新しくもないので旬を逃す事は無いと思いますが（笑）

でもやっぱり公開できる日を夢見ていました。

このコロナ禍で感じた方も沢山いらっしゃると思いますが、日々日常の大切さ、平凡である事の有難味を。

この映画はそんな日常を描いた作品です。高津川流域に暮らす人々の日常を覗き見に是非劇場へ。

錦織良成監督／COMMENT

昨年 4 月の公開を見送り、随分と歳月が経ちました。コロナ禍での自粛が続いてきましたが、改めて映画館でご覧いただける喜びと有難みを心から感じています。そして公開延期された今だからこそ、より皆様に感じて貰える映画なのではないか、との思いが強くなっています。川のせせらぎを楽しむように是非大スクリーンでご覧いただければ嬉しいです。きっと日本が好きになって貰えると思います。

新場面写真①



甲本雅裕演じる主人公、斎藤学の新場面写真

新場面写真②



同級生が集まる新場面写真

【Introduction】

一級河川としては珍しいダムが一つもない日本一の清流「高津川」を舞台に、人口流出に歯止めのかからない地方の現実の中、歌舞伎の源流ともいわれる「石見神楽」の伝承を続けながらも懸命に生きる人々の日常の営みを、力強く描いた力作です。

主演は映画、舞台、ドラマにおいて、その存在感と確かな演技力で活躍し続ける甲本雅裕。本作品が劇場映画初主演となり、見事に無口で不器用な父親を演じきりました。表情や立ち振る舞いに繊細な感情の揺らぎが感じ取られ静かに問いかけるような演技が見ものです。更にヒロインには戸田菜穂、大野いと、田口浩正、高橋長英、奈良岡朋子など実力派俳優が集結、等身大の姿で演じ切りました。監督・脚本は『白い船』、『RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語』の錦織良成。本作『高津川』で描かれたのは「現代の日本の【どこにでもある物語。】」であり、音楽を聴くように、小説を1ページ1ページゆっくりと開いて読むように、スクリーンと心を通わせて観て頂きたいと、期待を込めます。

—当たり前だからこそ、忘れてはいけない、大切なことがある。—

一級河川「高津川」。ダムが一つもない下流まで透き通った日本一の清流。その流域で暮らす人々の問題や葛藤。それは、どこかの特別な話ではなく、誰にでも起こる、どこにでもあるもの。

「誇り」「伝承」「命」。何を守り、何を繋げ、どう生きていくのか。これは大切なものを守り、懸命に生きようとする人々の物語。静かなメッセージが心に迫ります。

【STORY】

斎藤学（甲本雅裕）は山の上の牧場を経営している。歌舞伎の源流ともいわれる「神楽」の舞いは地元の誇り、息子の竜也が神楽の稽古をさぼりがちなことから、多くの若者のように自分の息子もこの地を離れて心配している。そんな時、学の母校である小学校が閉校になることを知らされるのだが・・・

原作・脚本・監督:錦織良成(映画『白い船』『RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語』)
出演:甲本雅裕 戸田菜穂 大野いと 田口浩正 高橋長英 奈良岡朋子 ほか
プロデューサー:安川唯史 音楽:瀬川英史 撮影:佐光朗 照明:加瀬弘行 録音:武進 編集:日下部元孝
制作プロダクション:goen 配給:ギグリーボックス
2019年/カラー/5.1ch/ピスタ/113分
公式サイト:takatsugawa-movie.jp
© 2019 映画「高津川」製作委員会

2022年2月11日（金）新宿バルト9ほか全国順次公開

<配給宣伝 お問い合わせ>

株式会社ギグリーボックス TEL : 03-5937-1267